

「きのこ」

今年の9月は、雨がちの月でしたね。お日様が恋しいな～～さびしい気持ちを抱えて緑地を散歩していると～～まあ、なんといろいろなきのこが生えていることでしょう！

黄色い元気のよいキラキラタケが、朽木の黒とすばらしいコントラストを見せてくれます。赤いタマゴタケは、今卵から生まれますよ～という赤ちゃんのようです、なんとかわいらしい… 山道にさしかかる斜面にはオレンジ色の細長い糸のようなものが、地面から生えています。これはアリノタイマツというきのこだそうです。確かに、アリが松明を灯して掲げているような小ささです。雨にも負けず生きてきたきのこたちに、私も元気をもらいました。

形の良いきのこを一つ、家に持ち帰りました。コテングタケでしょうか。以前遠藤さんが緑地便りで紹介してくださった(2012年10月号)『きのこ ふわり胞子の舞』を自分でも見てみたかったのです。早速きのこを小さいビンに立て、部屋を暗くして向こう側から懐中電灯で照らしてみました。しばらく見ていると…きのこの傘から、胞子が出ています！ 流れ

るようにふわりと放出される場所は確かに舞を舞っているようです。今まで、全く気付かなかった美しさに、しばし見とれてしまいました。写真は本のよううまくはとれませんでした。が、「いやー、ほんとに見えるんだ！」と大満足。

さて、翌日。そのままになっていた机を見ると、胞子で真っ白になっていました。こんなにも胞子が出ているのですね。…そしてまた、翌日。キノコはとけてなくなっていました。あたりには嫌なにおいと、得体のしれない黒いぐにやぐにや



かさから胞子がでてますよ！

した液体が…キャー！



(小川)

胞子で、机は真っ白になり



キラキラタケ



タマゴタケのあかちゃ



タマシロオニタケ



ニガクリタケがネックレスのように木を取り巻いてい

※名前は間違っている
かもしれません。